

令和7年度（横浜瀬谷高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修及び朝の職員打合せ等で、事例や通知を示しながら、職員一人一人が不祥事を他人事ではなく自分事として捉えられるよう意識の醸成を図った。 ・ヒヤリハット事案を積極的に情報共有し、また、互いに声掛けを行うことで、特定の職員に困り感が偏らない職場環境づくりを目指した。その結果、全体として法令遵守の意識を持った行動をとることができた。
わいせつ、ハラスメント行為の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつ、ハラスメント行為の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対する相談・指導等における留意事項について、不祥事防止研修等で職員の意識を涵養することにより、生徒や職員同士の人権尊重の意識も高まり、目標を達成することができた。
体罰、不適切指導の防止	職員一人一人が日頃より指導の目的を意識し、支援的視点を持ち、適切な方法で落ち着いて生徒に向き合えるよう取り組み、体罰・不適切指導を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を活用し、職員自らによる研修を行うことで、職員全体の意識啓発を行い、体罰や不適切な指導に係る事故を未然に防止した。
入学者選抜の適正な実施	入学者選抜における不祥事防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・入選業務に係る研修を複数回実施し、入学者選抜が公正かつ厳正に行われるように職員全体の意識を高めることで、全員が使命感を持ちながら、緊張を保って業務を行い、不適切な事案なく遂行することができた。
成績処理及び進路関係書類作成・発行に係る事故防止	点検体制を再度確認し、定めたマニュアルに基づき業務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・点検体制等に係る業務マニュアルに基づき、正確に業務を行うことを心がけた。また、調査書・通知表等の作成や成績処理にあたり、複数でのチェックを徹底することにより、事故の未然防止に努めた。
テストの適切な実施、管理の徹底化	テスト問題の作問ミスの防止、適切な実施、管理の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの作成については、ミスをなくするため各教科でのチェック体制を強化した。 ・テスト実施に当たり、試験前に職員生徒への注意喚起を行い、試験が適正に実施できるよう努めた。 ・誤廃棄防止のため、成績処理終了までシュレッダー使用を禁止した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策の徹底	個人情報の適切な管理に努め、個人情報の流失を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、定期テストに係る未返却物の誤廃棄や紛失を防止するため一元管理を行った。また、職員啓発資料を活用して不祥事防止研修を行い、個人情報の取扱いについて徹底を図った。

会計事務等の適正執行	公費・私費の不適切処理を防止する。	・業務アシスタントが私費会計の主たる部分を管理することにより、出納簿の記帳や会計監査に対する準備、決算書の作成等の業務が教職員の手を離れ、書式の統一や、印漏れや領収書漏れの防止を効果的に行うことができた。
経験の浅い教職員による不祥事の防止	かながわの教育を将来にわたって担っていく人材の採用、育成に向けてより実効的な不祥事防止の対策を行う。	・日ごろから職員の様子を観察し、必要に応じて適切なタイミングで声掛けを行って、起こった問題を一人で抱えることがないようにした。
職場のハラスメント、パワハラ、セクハラ、マタハラ等の防止	職場内におけるハラスメント等が行われないように対策を講じる。	・職員啓発資料等を活用し、全職員を対象とした研修を行って注意喚起を行い、不祥事を防止した。

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

毎月の職員会議開催日に合わせ、職員による不祥事防止研修を行い、個々の教職員が不祥事を自分事として捉えることができたと考えている。

年度内に課題として上がってきた事項については、当該部署でしっかりと検討した上で、速やかに管理職へ相談するという体制のもと、速やかに課題を解消してきた。

令和7年度は開校4年目となり、職員も年々入れ替わる中で、開校以来の課題とされてきた学校の体制をさらに見直したことによって、業務の効率化を図るとともに、事故防止の観点からもよりよい組織作りができた。

教育公務員としての職責を自覚し、職員一人一人が使命感を持って業務にあたることによって、令和8年度も不祥事ゼロを達成する。